

教育実習—卒業生が教員を目指して

6月3日(月)より、本年度も教育実習が行われました。5月31日(金)の事前説明会で教育実習の心構え、実務等について学んだ工業科1名、地理歴史科1名、保健体育科1名、家庭科1名、計4名の実習生は、3日の職員朝礼で一人ひとり自己紹介し、工業科と地理歴史科は2週間、保健体育科と家庭科は3週間の実習がスタートしました。期間中、4名の実習生はそれぞれの担当教員の指導の下、授業だけでなく放課後のクラブ活動等にも積極的に取り組み、充実した日々を送りました。また、生徒たちにとっても先輩のがんばる姿が良い刺激、感動となり、実習生の和工時代の思い出や大学生活などについて興味深く聞き入っている姿も見受けられました。教育実習最後の日、職員朝礼の場で実習生はそれぞれ挨拶をしましたが、教員の指導に対するお礼と教職へ向けての強い決意が感じられる言葉でした。



新入生歓迎会 —映画鑑賞の午後

6月7日の金曜日、午前中3限の授業終了後、市民会館に移動して本年度の新入生歓迎会を実施しました。生徒会長の挨拶、諸注意の後、映画「桐島、部活やめるってよ」を鑑賞しました。この映画は朝井リョウの同名小説を吉田大八監督が映画化した青春群像劇です。朝井リョウはこの小説で第22回小説すばる新人賞を受賞し、小説『何者』で第148回直木賞を受賞しています。映画は学校一の人気者であるバレー部キャプテンの桐島が部活をやめたことから、校内の微妙な人間関係に少しずつ波紋が広がっていく様を描いており、第36回日本アカデミー賞で最優秀作品賞、最優秀監督賞、最優秀編集賞を受賞しています。同世代の登場人物が演じる青春映画でしたので、新入生も上級生も大いに楽しみ、無事に歓迎会を終了しました。



同窓会総会—創立100周年に向けて

6月15日(土)、午後3時より本館6階の多目的ホールにて、平成25年度和歌山工業高校同窓会総会が開催されました。佐谷会長、小山校長の挨拶の後、総会議長に佐谷会長を満場一致で選出しました。総会では平成24年度事業報告・同決算報告・監査報告、平成25年度事業計画(案)・同予算(案)、創立100周年記念事業の件、役員改選(案)等が審議され、全て原案通り承認となり、会長には佐谷会長が再選されました。総会終了後、会場を「アバローム紀の国」に移して懇親会が催され、参加者は高校時代や来し方を振り返り、来年に迫った母校の創立100周年に向けて大いに盛り上がりました。



7月の行事予定

- 2日(火) 壮行会(インターハイ、野球等)
- 19日(金) 1学期終業式
- 19日(金)～24日(水) 学級懇談会

